

観光名所にアンテナショップオープン

加賀野菜や加工品を全国に発信

丸果石川中央青果

丸果石川中央青果（松本久典社長、金沢市中央卸売市場）では、金沢の観光名所である東山にアンテナショップ「菜四季（さいしき）」を

オープンした（写真左）。加賀野菜などをはじめとした県内各地の農産物加工品を販売するほか、特産サツマイモ「五郎島金時」の焼き

芋、同市場の金沢市青果食品商業協同組合を通して「加賀野菜セツト」の発送受けも行う。

店舗の運営は、同社の子会社であるMRKベジフルが行う。西川暁（さとし）店長ほか計3人のスタッフは、この事業のために採用された。売場は約10平方メートルと小

ぢんまりしているが、加賀れんこんなどのチップス、金時草を練り込んだそば、打木赤皮甘栗かぼちゃのパスタソース、五郎島金時の焼

酎など、金沢ならではの特産品を使用した加工品が数多く品揃えされている。

また、店内には加賀野菜を提供する飲食店を紹介したパンフレットなども置いて、観光客にPR。2014年度末には北陸新幹線の東京―金沢間が開業予定。岡嶋啓介常務は「県産農産物および加工品の魅力を全国から訪れる観光客に発信し、ファン獲得につなげてい」としている。

初の「セリガール」誕生

一方、同社には、初の女性セリ人が誕生した。金沢市中央卸売市場全体としても初めて。入社4年目の松沢佳世さん（22歳）で、これま

ではハーブ類、マッシュルーム、ニラ、シントウなどの仕入れおよび相対販売を担当。今年2月のセリ人試験に合格し、今年度からデビューとなった（写真左下）。

松沢さんは入社にあたり営業職を希望。当初は「前例がない」として入社試験を断られたが、何度も会社

に足を運び、その熱意が伝わって採用されたという。今月8日の初めてのセリでは、カランナ、ワサ

ビナ、ギンナ、コマミ、ノゼリなどを担当。松沢さんは「テレビ局などにも来ていたので緊張し、頭

が真っ白になりました。買参人の方からは、声が小さいと指摘されました」と反省しつつも、「全体としては一応、大丈夫だったかなと思います。産地の味方になれるようなセリ人をめざしていきます」と抱負をのべた。

